



# 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 宮越ホールディングス株式会社  
コード番号 6620 URL <http://www.miyakoshi-holdings.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 宮越 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 板倉 啓太

TEL 03-3298-7111

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	855	14.6	350	2.3	587	1.2	388	21.7
2023年3月期第3四半期	1,000	5.7	342	11.0	594	4.5	318	0.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,138百万円 (21.1%) 2023年3月期第3四半期 1,442百万円 (48.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	9.70	
2023年3月期第3四半期	7.97	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	28,000	26,817	90.3	632.08
2023年3月期	26,868	25,678	90.4	607.33

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 25,292百万円 2023年3月期 24,301百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200	9.1	430	7.8	710	9.0	450	10.3	11.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	40,014,943 株	2023年3月期	40,014,943 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	925 株	2023年3月期	909 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	40,014,025 株	2023年3月期3Q	40,014,266 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界の経済環境は、長引くウクライナ・イスラエル情勢など地政学リスクや世界的なインフレがピークアウトしつつある一方、金融政策による金利の高止まり等の影響により、米国・EUの経済成長は減速傾向にあり、全体として先行きの景気見通しに不確実性が高まっております。

一方で当社グループの事業拠点である中国深圳市は、グレーターベイエリア（大湾区）の中心都市として海外から注目され、自動車関連の好調さを受け、昨年度のGDP伸び率は全国平均（5.2%）を上回る6.3%となるなど経済運営は全体として持ち直し、改善に向かっているものと思われます。なお、ウクライナ情勢等の地政学的リスクについては大きな影響はないものと考えております。

このような状況下、当社グループは引き続き不動産賃貸管理事業の収益基盤の強化に取り組むとともに、再開発事業の着工に備えて、改装費用を伴う長期入居予定の新規テナントの入居の見送り、賃貸契約期限の到来するテナントに対しても再開発の状況を見据えて長期間の契約更新は避けるなどの施策を継続的に実施しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益は855百万円（前年同期比14.6%減）、営業利益350百万円（前年同期比2.3%増）、経常利益587百万円（前年同期比1.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益388百万円（前年同期比21.7%増）を計上いたしました。

#### 不動産開発事業について

当社グループが推進するプロジェクトは、子会社深圳皇冠（中国）電子有限公司（以下「皇冠電子」）が保有する土地（127千㎡）・建物（89㎡）を再開発し、新たに世界30ヶ国のフォーチュングローバル500企業を始めとした先進的大手外資企業200社を誘致し、進出企業が本格的なR&Dやマーケティング拠点もしくは中国本社機能を置き、新たなイノベーションを巻き起こすための大規模施設「ワールド・イノベーション・センター」（仮称：WIC）を建設する構想です。

WICプロジェクトは、深圳市福田区政府が皇冠電子の所在する車公廟地域の約32ヘクタールにおいて進めている大規模な都市更新再開発事業であり、当プロジェクトはその内約40%を占める開発主体です。当プロジェクトは、第1ステップの都市更新ユニット計画の計画草案が深圳市政府に承認され、現在第2ステップである開発主体独自の規制編成案を申請するため、深圳市都市計画設計研究院及び株式会社日建設計と規制設計契約を締結して準備を進めており、今後開発の諸条件を固めた上で出来るだけ早期に着工し、2026年中のグランドオープンを目指しております。

一方で、深圳市政府の委嘱を受けて精力的に企業誘致活動も行っており、フォーチュングローバル500企業を中心に大手企業が強い関心を示し、すでに先進的大手外資企業をはじめ100社を超える企業がWIC進出の意向を表明しており、今後開発手続きが進むに従ってWICへの進出希望企業はさらに増えるものと思われます。

現在中国深圳市において都市更新再開発事業としてWICプロジェクトを進めておりますが、当社は総合投資会社を標榜しており、当該プロジェクトを投資事業の第1号案件と位置付けております。

当社グループの報告セグメントは、「不動産開発及び賃貸管理」のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は28,000百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,132百万円増加いたしました。この主な要因は、為替相場の変動により在外子会社の現金及び預金が増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,183百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。この主な要因は、前受金等の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は26,817百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,138百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金と為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想等に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,981	11,132
営業未収入金	141	99
その他	814	861
貸倒引当金	△41	△29
流動資産合計	10,896	12,063
固定資産		
有形固定資産	210	266
無形固定資産		
のれん	78	49
土地使用権	947	968
その他	0	0
無形固定資産合計	1,026	1,018
投資その他の資産		
長期貸付金	13,451	13,413
その他	1,283	1,238
投資その他の資産合計	14,735	14,652
固定資産合計	15,971	15,936
資産合計	26,868	28,000
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	70	85
引当金	2	1
その他	305	278
流動負債合計	378	366
固定負債		
退職給付に係る負債	8	8
その他	802	808
固定負債合計	811	817
負債合計	1,189	1,183
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,217	9,217
資本剰余金	8,962	8,962
利益剰余金	5,543	5,931
自己株式	△0	△0
株主資本合計	23,722	24,110
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	579	1,181
その他の包括利益累計額合計	579	1,181
非支配株主持分	1,376	1,525
純資産合計	25,678	26,817
負債純資産合計	26,868	28,000

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業収益	1,000	855
営業原価	151	147
営業総利益	849	707
販売費及び一般管理費	506	356
営業利益	342	350
営業外収益		
受取利息	209	211
その他	41	25
営業外収益合計	251	236
経常利益	594	587
税金等調整前四半期純利益	594	587
法人税、住民税及び事業税	216	215
法人税等調整額	13	△57
法人税等合計	229	158
四半期純利益	364	428
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	40
親会社株主に帰属する四半期純利益	318	388

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	364	428
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,078	710
その他の包括利益合計	1,078	710
四半期包括利益	1,442	1,138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,230	990
非支配株主に係る四半期包括利益	212	148



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の注記事項(重要な会計上の見積り)に記載した会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響に関する前提に、重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社の清算終了)

清算中でありました当社の連結子会社である隆邦医葯貿易有限公司は、2024年1月26日付で清算終了いたしました。

1. 清算終了日

2024年1月26日

2. 当該連結子会社の概要

名称	隆邦医葯貿易有限公司
所在地	中国吉林省長春市西安大路吉發広場A座502室
代表者	法定代表人 董事長 繁野 研
事業の内容	医薬品及び医療器具等の卸販売
資本金	510,000,000円
株主及び持株比率	クラウン株式会社(当社の100%子会社) 100%

3. 損益に与える影響

当該解散及び清算に伴う連結業績に与える影響は軽微であります。